

# 日野・生活者ネットワークニュース

No.169

2022年7月10日発行

発行/日野・生活者ネットワーク 発行責任者/出沼恵美子  
〒191-0062 日野市多摩平 2-3-12 中央日石ビル 4F  
URL <http://hino.seikatsusha.me/>



## 遊具からはじまる インクルーシブな社会



日野ネットでは、誰もが遊べるインクルーシブな遊具の設置を予算要望してきましたが、今年度を実現される予定です。そこで先進事例として、昨秋リニューアルオープンした都立府中の森公園内「もり公園にじいる広場」を視察しました。

### すべてはその子の 笑顔のために

にじいる広場は、オープン前から、今まで公園で遊びにくかった子どもや保護者たちの声を聞き取り、公園づくりに反映してきました。

14ある遊具のうち9つがインクルーシブな遊具で、車いすのまま上まであがるすべり台や遊べる砂場、また体幹の弱い子どもでも安心して乗れるブランコなどがあります。既存の遊具では、排除されてしまう子ども達がいることに、改めて気づかされました。「その子の笑顔のためにつくりますよ。」と遊具設計をされた方がお話をいただきました。



車椅子のまま遊べる砂場

いました。だからこそ、インクルーシブな遊具は、常に進化を続けていくのだと感じます。

### つくるまで、 そしてつくってから



アドベンチャーキャプセルは車椅子のまま上がれます

都の担当職員によると「公園はつくってからが真価が問われます」とのこと、実際に来て遊んでもらえるには、時間と工夫が必要なのは、遊具を設置して終わりではなく、遊具にたどり着くまでの動線を考え、公園全体、まち全体、そして人々の意識も含め、誰も排除しないインクルーシブな社会をつくるための、むしろはじめの一歩なのだと感じました。東京都では、都内でインクルーシブ遊具を広めるための補助金制度をつくり、日野市においては市役所前の中央公園に今年度中に設置の予定です。それに伴う公園整備もすすめられます。ぜひ皆さんの声をお寄せください。

※インクルーシブ＝誰も排除せず、包み込む

### 日野市の魅力 再発見!

## 西平山の馬力街道をゆく!

多摩地域史研究会主催の西平山の浅川沿岸の用水・水車遺跡・燃系遺跡をめぐる企画に参加しました。

日野市はかつて多摩地域有数の米どころで、JR中央線の鉄橋脇から取水する川北用水・分水する上村用水沿いには水車が建ち並び、ついた米を馬にのせて八王子へ運んだことから「馬力街道」と呼ばれたそうです。

養蚕も盛んでした。大正時代には燃系に水車の動力が使われていましたが(超再エネ!)、電気が入ると電動機使用の燃系工場が並んだといいます。旧燃系工場の建物が残る高橋糸工場(写真・現在修復中)も見学しました。

説明を聞きながら歩くと、知らなければ通り過ぎてしま

う風景も、大変面白い深く感じます。この辺りは区画整理予定地なので今のうちに見ておいてほしい、と研究会の方はおっしゃっていました。



## ケアラズカフェで おしゃべりしませんか!

日野ネットでは、介護や看護をする人・していた人がホッとする時間、情報の交換などができるような「ケアラズカフェ」を開催しようと企画中です。

どのようなカフェが良いか、皆さんのご意見をお待ちしています。



## 使い捨てカイロを 再利用!

冬の必需品使い捨てカイロをごみにせず、大阪湾の水質浄化に再利用しているGo Green Groupという会社があることを知り、市民の方からも届けて頂き集めたカイロを送りました。

日野市でも活用できるよう、市民の皆さんと取り組んでいきたいと思



## 「なおことおしゃべりカフェ」で 気軽におしゃべりませんか



**日時** 2022年10月24日(月) 14時～

**場所** 未定(決まり次第HPでお知らせします) **参加費** 無料

**参加方法** 日野ネット事務所へご連絡ください。✉ [hino-net@cap.ocn.ne.jp](mailto:hino-net@cap.ocn.ne.jp)  
議会質問や市政、まちづくりについて、気軽におしゃべりしてみませんか?